

六甲アイランド高等学校
ROKKO ISLAND HIGH SCHOOL

同窓会(六愛会)会報

2004.8 SUMMER 第4号

編集・発行 神戸市東灘区向洋町中4-4
六甲アイランド高等学校内
六甲アイランド高等学校同窓会(六愛会)
TEL・FAX 078-858-4083
印刷所 株式会社 廣済堂

ろくあい



若返る役員会へ

同窓会長
三好 寛文

六愛会の皆さんこんにちは。お元気で活躍しておられる事とお慶び申し上げます。

さて、今年も総会の日が近づいて参りましたが、昨年もお願ひ申上げましたが、総会は同窓会の最重要行事でありまして、これを最大に盛り上げることが、会の活性化につながって参りますので、是非お友達も誘い合わせて多数参加して下さいようお願いします。今年も会費を格安としています。又ラッキーな方には、恒例の抽選会で景品が当たることもありますので、老若男女会員皆様が集って真夏の二肖を楽しく過ごしましょう。

今春も新しい六甲アイランド高校第四回卒業生三四六名を迎え入れました。入会式に代表の方から「長

い歴史のある六愛会に入会出来て幸せです。」との挨拶を受けました。又高校三年間で得た貴重な物は、勉学・心身鍛錬以上に、友人と云う最高の宝物を得られたということでありましたが、卒業後も此の宝物を大切にしてゆく為には、同窓会の組織の中で生涯にわたって交友を続けてゆくことが大切であります。

若い皆さんは本場に素直で、良い人達であります。皆さんも末長くおつき合いたいと云うようお願いします。

今年も同窓会が新発足して四年目になります。会則による役員任期は、二任期に参っておりますので、今年も役員(常任理事)に新しい人も入ってもらい、会の運営にも新風を吹き込みたいと云います。本来、

役員は交替しあつて、順次若返り活性を保つてゆくことが理想であります。その意味でも今後順次入れ替え、年々新しい役員に、後事を託してゆく習慣となればと切望する次第です。

最後に私、此の総会をもつて引退させていただきます。平成十四年に二代目の会長を仰せつけられ、既にかんりの高令でありましたが、敢て任期を全うすべく、老骨にむち打つつもりでいました。しかし実際は、体力・気力減退で、殆んど看板的存在でしかなかったようで心苦しく存じております。今回幸いにして、私も二十才近くも若い後継者に後事を委ねることになりました。どうか今後も、皆さんの絶大なご支援を賜りますようお願い致します。

又、同窓会は母校あつてのものと言ふ考えに基づいて、母校と共に永遠に存続するよう、今後の役員の方々のご奮闘をお祈りする次第です。



ご挨拶

校長

桑原 元一

六愛会の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育にご理解とご支援を賜りまして深く感謝申し上げます。

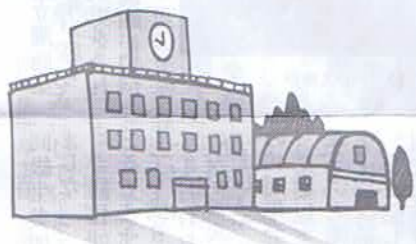
ているところであります。生徒諸君もそれによく応えて学習活動・部活動等に意欲的に取り組み、進路実績・部活動成績ともに輝かしい結果を残してくれています。

お蔭様で、本校は平成10年の開校以来着実な歩みを続け、県下のみならず全国的にも21世紀の教育を体現する先導的モデル校としての評価を受けております。全国から今なお多くの先生方が、学校視察に訪れてくださいます。総合選択制の教育システムにおける学校運営の在り方、生徒一人一人の輝きを大切に、将来の夢の実現を目指す教育理念などが、注目されているものと思われまふ。私たちは自信と誇りを持って教育活動を展開し

さて、私たち教職員は本校教育のいっそうの充実を図るために、神戸市教育委員会のご支援をいただき実践と研究を推進してきましたが、平成17年度より普通科総合選択制から普通科単位制に改編することになりました。これまでの教育実践の成果を踏まえ、生徒一人ひとりの興味・関心・意欲や個性を伸ばせる現行のシステムの利点をさらに伸張させるための改編であり、学校として更なる発展を目指すものであります。また、単位制になりますと

同窓会の皆様におかれましては、学校がさらに新しく生まれ変わることにつきまして、なにとぞご理解いただきましてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後にになりましたが、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。



平成16年度 六甲アイランド高校同窓会(六愛会)総会とパーティのご案内

今年も、総会の季節がやってきました。毎年出席して下さっている会員の方はもちろんの事、若い方も、友達と誘い合わせて、是非参加して下さい。お世話になった先生方も、多数ご参加下さい。お待ち申し上げます。尚、このお知らせをもちまして、ご案内状にかえさせていただきます。(総務委員会)

日時 平成16年 8月28日(土)
午後6時開会(5時より受付)
場所 神戸東急イン(三宮駅南) TEL 078-291-0109
会費 ¥3,000 (但し新会員は¥1,000)



愛称・ロゴ決定

皆様からの多数の応募の中から、愛称を「ろくあい」に決定させていただきました。ひらがなの持つ優しさと、親しみやすさを、これからも長く、愛して行って下さる様、お願い致します。

ロゴは六アイ4期生の黒瀬彩さんのデザインです。彼女は1回生の時から優れた作品を創り出し、数々の賞を受賞されています。特に3回生の時には、第18回毎日DASデザイン賞グラフィック部門で、全国第2位の成績を収めるなど、将来が楽しみです。普段はメチャ明るい女の子との事です。



六甲アイランド高校 関西フィルハーモニー管弦楽団 による芸術鑑賞会のご案内

●日時/平成16年12月22日(水)
午前10時30分開演予定
●会場/神戸国際会館

同窓会の方も六アイ生と一緒に鑑賞していただけます。ご来場をお待ちしております。

思い出 全員集合!!

神商(龍神会) 第十七回生同期会開催

神商17回生 田中虎萬雄

平成十五年の第十七回生の同期会は十月二十四日(金)神戸駅前「天安閣」にて喜寿を過ぎます元氣な十八名が出席して開催しました。

この年はまた母校を卒業して六十年になります。卒業当時は戦時色、卒業後は戦場へ、工場へと狩り出され更に戦争は激化、昼夜の別なく容赦なき空襲で都市は焼け野原、そして終戦、就職難、物資不足、食料難等ナイナイづくしのみじめな時代でした。戦争はむごく愚かで恐ろしいもの、絶対にするべきでないやがて各産業の復活、朝鮮特需も幸して経済は順調に伸び、経済大国とまで云われ物は潤沢になる。六十年間を振り返れば本当に変動多き時代でした。六十年経った現在も、堂に会って楽しく歓談、互いの健康を喜び会えることは大変嬉しく、これからも同期会を続けていきたいと思います。



▲平成15年10月24日 於 天安閣

神商30回生同期会

神商30回生 渋谷 隆

神商30回生は、平成15年10月9日ポートアイランドにある「ホテルゴーフ」において同期会を開催しました。前回は、平成9年9月ポートピアホテルで「卒業40周年のつどい」と題して開かれ、今回は6年ぶりとなりました。当日のプログラムは、物故者への黙祷、クラス毎に出席者の紹介、返信されたハガキの近況欄の紹介、校歌斉唱等で記念撮影の後二次会のカラオケ大会へと進みました。

今回は参加者が60名とやや少なかつたのですが、遠方からの参加者もあり、卒業後初めて会う友もおり、全員で再会を喜び合いました。思い出深い半日を共有しました。

同期会開催後、当日の多くの参加者から、旧友と再会した後お互いに連絡を取り合っており、出席して本当に良かった、との感謝の手紙と電話を頂きます。次回開催は、卒業50周年の年に盛大に開催しようと考えており、それまで全員が元氣でありますように祈っています。



▲平成15年10月9日 於 ホテルゴーフ

「十九生会総会」を パレス神戸で盛会に開催

神商19回生 中山浩和

去る5月16日(日)に神商第19回卒業の十九生会は、神戸市中央区のパレス神戸において本年度総会を開催しましたところ、遠くは日本海方面や和歌山から計23名が参集し、盛大な十九生会を開催しました。

我々は、昭和20年に神戸市立灘商業学校を卒業してから早や59年が経ち、この間はまさに波乱万丈の人生をそれぞれ見事に克服し、ここに健顔が相い集いました。



▲平成16年5月16日 於 パレス神戸

当日は、母校の現況や60年前にタイムスリップして在学中のエピソード等を大いに語り合い、その記憶の正確ぶりには感心する次第でした。

さらにカラオケではプロ顔負けの美声やムード満点といった展開で時の経つのも忘れる状況で、来年の再開(卒業60周年)のプランを話し合いながら最後は、懐かしい校歌の大合唱で全員青春時代に復活し、本年の十九生会は大盛況の内に散会となりました。

当日の出席者は次の通りです。

井上一男 佐久間 勲 渡橋信夫
久保 昭 南都健男 (広瀬光雄)
斎藤太郎 柳生政男 国本弘司
夏原房次郎 中山浩和 坂本 巨
森田 一 金田健利 豊開正明
砂川正博 近藤 修 原田 晃
上杉 豊 嶋津繁彦 伊福 清
権納照男 布野 孝

来年は、卒業60周年の大節目ですから、全員必ずご出席下さるようお待ちしております。

湊川高等学校第16回生 卒業40周年同窓会

湊川16回生 森本美津子

2004年5月15日(土)神戸市中央区のグリーンヒルホテル神戸に於て、湊川高等学校第16回生卒業40周年同窓会が開催されました。

恩師の宮崎先生、柴田先生、梶田先生、横山先生、尾田先生、浜田先生、国宗(池田)先生7名の先生方を囲み、63名の

同級生参加のもと盛大にとり行われ、

今回16回生学年会としては3回目となります。第1回目卒業30周年として平成6年8月に、第2回目平成7年1月17日の阪神淡路大震災で多くの友が被災したその年に元氣な顔で逢いましょうと銘打って開催、そして今回の40周年会です。

卒業以来数十年振りの懐かしい顔ぶれに、もつとも話したいとの思いでアツと言った3時間でした。

また話し足りない思いでしたが又次回会える事を楽しみにと散会になりました。

この数年間に中村先生、林先生、そして友の数名が逝去されたとの報告を受け、本当に寂しく悲しい思いがいたしました。

特に2年前に亡くなられた羽原毅さんには長年に渡りご自分の喫茶店HABARAを同窓会連絡所として開放して頂いて来ました。今まで多くの友人に連絡をとり縦横のハイブ役をして下さいました。今回の同窓会を企画開催する事が出来たのも彼のお陰と感謝しています。

きっと彼も喜んで見てくれていると思います。

湊川第16回生同窓会が今後も企画されることを心より祈念いたします。



▲平成16年5月15日 於 グリーンヒルホテル神戸

双龍会(神商22回生) 同期会

神商22回生 大慈善雄

定例会として定着している双龍会の平成15年度同期会は十月十八日、木

曾路三宮店に十二人が集い、二年ぶりのご無沙汰に旧交を温めた。

この日参加した諸兄は皆元氣そのもの。近況報告ではゴルフコンペの自慢話や釣り、旅行といった楽しみ方など、古希を過ぎた今もまたまた元氣旺盛なところが目についた。

昭和24年(旧制卒は23年)西灘の仮校舎で卒業して既に五十五年の歳月が流れ、年月の経つ早さに郷愁を感じながら、しゃぶしゃぶに舌鼓を打ち、酒を酌み交わし予定時間の過ぎるまで堪能した。

今年度の定例会は十月実施をめぐり、詳細が決まり次第、住所判明者には案内を送付の予定、世話人会では一人でも多くの出席を望んでいる。

世話人 大慈 糟谷 不二道畑 屋敷(50音順)



▲平成15年10月18日 於 木曾路三宮店

トツパくらぶ 卒業六〇周年還暦の宴

神商18回生 佐々木豊繁

平成16年6月6日(日)「第一楼」で、トツパくらぶ総会を開催した。

毎年開催されるこの会も、年を追う毎に計報に接することは忍びないが、お互い元氣でいる限り会を存続し、止むなく欠席される方々の消息を知ること、同期生の絆になると確信している。

総会は森田五郎幹事代表の挨拶と、彼が時代の流れを次の様に作詩した。

なんの因果で、なじみになった
出合は曇り空、竜神が丘(昭15、13才)
軍国戦雲日々陰し、軍事教練しこか
れた

16、12、8、真珠湾、勤労動員、陸、海、空
散り散りのま、神風吹かず 原爆、
降服、乱世、飢饉、人生劇場悲喜も
ごも
トツパ猛者連したたかた、幾多難関

突破して、今や旅路は喜寿を超え
卒業のかた還暦だ
先ずは祝福賑わしく、今昔語り若
返ろう

明日への活氣も湧いてくる
根つよく明るいスタートだ
盟友トツパ先方

これを炭坑節のメロディで全員が合唱し、歩んできた人生に思いを馳せた。
宴会は、久しぶりの参加岡山の樋口三夫の乾杯に始まり和やかな雰囲気の中で飲む、語る、食する内に、お互い体調の事、息子孫の事、恩師の事、諸先輩の事、ワイワイガヤガヤ何時果てるともなく時間は過ぎていった。最後になつかしい校歌を腹の底から歌って散会した。来年は一人でも多くの方々の参加を切望しています。

東京トツパ、平成15年12月2日(火)東京新橋駅前古今亭に於て、在京11名中7名の参加、昭和51年より連続開催28回となり、終戦前後の竜神が丘兵庫時代の懐旧談に花を咲かせ、最後に校歌斉唱来年の再会を約し散会した(松原好角記)さて六愛会の総会も近づいて参りましたが、トツパの皆さん、会報に同封されている郵便振替で忘れぬ内に年会費を納めてね。



▲平成16年6月6日 於 第一楼



▲平成15年12月2日 於 古今亭

11月の発表会

一、芸術学系音楽コース発表会(1/31)

三年生にとって、公式な発表の場は今日が最後のだろう。今迄練習して来たものをすべて吐き出して、みんなに聞いてもらおうんだという熱い思いが伝わってくる演奏会だった。個々の差は若干あっても、昨年は間違わない様という気持ちで精一杯だった生徒が、今年は、どうしたら心で聴いてもらえるのかを考えて演奏している。成長しているのがはつきりとわかった。プログラムが進むにつれて「よく頑張ったなあ」という思いが込み上げてきた。プロのコンサートで味わうのと全く質の違う感動。

最後に全員で歌った時、みんなの眼がキラリと光るもので、滲んでいたのがすべて……。



二、芸術学系美術デザインコース発表会(1/22~1/26)

生徒達の今年の活躍は、目覚ましいものがあり、中でも、DAS高校生デザイン賞コンクール(社団法人総合デザイナー協会主催)に於て三年生高橋夏奈子さんが服飾部門賞を取ったのはじめ、グラフィック部門、テキスタイル部門でも佳作を受賞。他入選69名を数え、学校賞をも受賞するという快挙を成し遂げた。その結果と思われるが、今年の発表会には意欲的な作品が多かった。デザイン、素材共、自由な発想で、見ている楽しい気持ちになった。ただ、素人だと笑われるかも知れないが、最初から造形だけ考えたのか、「着る」「使う」を考えたのか、理解しにくい作品がいくつか見受けられた。すべて、個性なのかなあ……。

毎年趣きの違う発表会。来年はどんなかなあ。今から楽しみ。



同窓会入会式

今年も346名の新しい若い仲間を迎える入会式に出席した。毎年の事ながら、自分を遠い過去へタイムスリップさせて、懐かしんだり、ギャップを感じて戸惑ったり、私にとっても非常に意味のある一日だった。

桑原校長先生や二好会長からの話しを聞いていても、同窓会に入るといふ事が実感として湧いて来ない様子。翌日に控えた卒業式で、頭が一杯なんだろうと思われるので仕方ないかなあ……。五年先、十年先になつて同窓会の存在と意義を少しでも理解してもらえたらと思う。

同窓会内の年代の差を埋める為には、子供達に背伸びを強いるのは無理な話。私達先輩が、彼等が目線までしゃがんでやる事が必要だと思ふ。式のあと、幹事になつた十八名が、同窓会室を訪問してくれた。どの子も礼儀正しく、気持ちよかつた。将来の同窓会活動を引張つて行つてくれる事と、信じている。



4期生クラス代表幹事

- 中村 恵太
- 森友 景子
- 田中 秀和
- 中島 愛子
- 米村 大
- 橋本 佳那
- 市枝 弘一
- 東条麻衣子
- 緒方 美幸
- 大井 里子
- 津守 秀憲
- 村田 未来
- 星出 優介
- 右幸友紀子
- 西川 貴雄
- 納 なつみ
- 片桐 雅史
- 稲村美智子



卒業式

去る2月27日母校講堂において、神戸市立六甲アイランド高等学校の第4回卒業式が厳粛なうちに挙行されました。

当日は晴天に恵まれ、来賓、保護者等多数出席のなか、桑原校長のはなむけの言葉を胸に346名(男子128名、女子218名)の若人が元気に巣立ちました。なかでも、卒業生代表(女子)の感情のこもった答辞には、思わず目頭が熱くなり、仰げば尊しや蜜の光等を共に歌えば、私としては、まさに60年前にタイムスリップしました。

346名の中から18名の方々に同窓会(六愛会)の幹事を委嘱し、大変心強いひとときを無事過ぎすことが出来ました。

中山 浩和
六愛会副会長



卒業式は、二年間の学校生活で、もっとも感慨深いものです。教員生活二〇年が過ぎ、多少の情性を自覚する私ですが、この卒業式という行事では毎回新しい発見と感動を得ることが出来ます。ただ、今年の卒業式ではいつものように感動に浸るようなゆとりはありませんでした。四期生のみならず、に、「いい卒業式を……」とそれだけを考え、数日前からビリビリとした状態で式当日を迎えました。

さて、その四期生の卒業式ですが、有り難いことに朝から好天に恵まれ、今まで以上に(と思つています)素晴らしい式になりました。卒業証書授与、式辞、送辞、答辞と厳かに進むなか、三年間の六甲アイランド高校での数限りない思い出を胸に、四期生のみならずは巣立っていきました。

私は提案しました。「みなさんが四二歳になつたら、学年全員で集まりましょう。それまで、消息を絶やさないようにしてください。年に一度の年賀状でもいいから、クラスの間窓会幹事と連絡をとるようにしましょう。」一人前の大人になつた四期生のみならずの再会を、楽しみにしています。

四期生学年主任 高島日出男

吹奏楽部「第4回定期演奏会」を鑑賞して

平成16年5月8日、うはらホールに、超満員の聴衆を集めて開催された。

芸術学系音楽コースの発表会は、日頃の練習の成果を披露する場であり、生徒達も極度に緊張しているし、聴き手の側も、ともすれば、上手か下手かという聴き方になってしまうが、それに対して定期演奏会は、エンタテイメントの要素をふんだんに取り入れて、非常に楽しかった。特に今回、打楽器奏者の茶屋克彦氏を、ゲストに迎えてのコーラレーションは見事だった。一流プロとの共演で、聴衆を感動させるには、相当の実力がないと出来ない事なので、その意味からも六甲吹奏楽部のレベルの高さを実感した。OB、現役、新生合同の演奏の盛り上がり方は、今迄の定期演奏会になつた雰囲気、ステージと客席とが一体となり、すばらしかった。今回の演奏会で「ただけ残念だったのは、ステージチェンジが多くて、盛り上がりなかつた事。一気にフィナーレ迄持つて行けなかつた事。出来ることなら、最初から楽器のフルセットが可能なら大きいステージでやれたらいいのになあ」と思った。

来年もすこく期待しています。

広報部



六愛祭

今年のテーマは「天真爛漫」、無邪気でありのままの自分を表現する。大人じゃないんだ、今の俺達にしか出来ない事をやるんだという気持ちを、精一杯ぶつけた六愛祭。とにかく今年楽しかった。生徒達だけでなく、先生方も一緒に溶け込んで、楽しんで……。

年配の方には、自分達が経験した文化祭と比べて、「やっぱり違う、時代かなあ」と感じるもよし、「この勢い、あの顔つきは、自分達の時代と、二緒だよ」と想うもよし。

体育祭と六愛祭、この2大イベントは、六甲アイを知り、理解する素晴らしい機会だと思ふ。是非、来年は、足を運んでやって下さい。

広報部



神戸市立第30回生 岡田 美代

とても不思議なことに、私達第一高女30回生が入学した年、昭和16年に、第二次世界大戦が始まりました(12月8日開戦)。そして、戦争が終わった年、昭和20年。私達は卒業したのです。

戦争というブルーの時代にとじこめられた学生生活でしたが、それなりに精一杯勉強し、楽しんだ、人生の充電期であったと思います。制服を工場の作業服に着替えて、同じ釜の粗飯を食べて過ごした学生時代…。加えて、水害、空襲、震災をも共に越してきた愛する街、神戸との縁。

喜寿を迎えて、なお元気を顔を寄せ合うとき、試練は次々重なったけれど、何より恵まれたものを共有したという喜びがしております。そしてなお今も青春です。後輩の皆さん。あなたの青春を意義深く生きて下さい。永遠に続くあなたの青春を！

神戸市立第三神港商業学校 第三十回生 村田 甫

私は第三神港商業学校を卒業致しました。学舎は六甲山の麓、赤松城の城あとで、北は緑ゆたかな山なみ、南は校歌にも歌われています。白銀きらめく茅葺の海が一望できる高台に鉄筋三階建の校舎、広い体育館、各クラブ活動練習専用のグラウンド及びコート、広い校庭、当時としては近代的で立派な学舎と思っております。しかし、ただけ悩みの種がありました。それは、長い坂道でした。特に遅刻しそうな時駆足で登る事でした。しかし良い事もありました。桜の花が満開の時は、桜の花のトンネルの様であったと記憶しております。又校則の厳しい学校でしたが、反面心豊かな教育方針であったと思います。これが昔の教育であったのではないのでしょうか。時代の流れだと思えます。平成十

年七月に、新築されました六甲アイランド高等学校の校内を見学させていただきました。今迄と反対に、緑豊かな六甲の山並を見て勉強にいそめ、良い環境の所にあると思えました。建物も明るい色彩で開放感のある広い校庭、私達の年代の者から見れば想像もつかない立派な設備、又授業に使われる立派な機器に驚きました。教科も自分で選択し専門的に勉強できるシステムであると感じておりました。その二環と思われる行事がありました。平成十六年一月三十一日芸術学系音楽コース演奏会のご案内をいただき、観賞させていただきましたが、実に立派な演奏で将来楽しみなものを感じておられると感じました。私は在学中は野球部に在籍しておりましたがあまり強くない、全国中等学校優勝野球大会兵庫予選、現在の全国高等学校野球選手権大会兵庫県予選では一回戦で敗退しておりました。しかし六甲アイランド高校になり三回戦まで進むようになり、応援に行く楽しみがあり、力も入る様になりました。学校の活動が時々掲載されるのを気をつけて見ておりました。

卒業生も在校生に負けない様に龍神会、清流会と云う垣根を取り払って、両校の良いものを出し合い、新しい同窓会である六愛会として、楽しく皆に愛され気さくな総会が待ちどおしく思われるくらい立派な、一本筋の通った会を作りあげるのが、私達の大切な仕事ではないかと思えます。それに両校の同窓生も年月が経過して行けば人数も減少して、考えられる事は昔の両校の名が忘れられる懸念が出てくるのではないのでしょうか。そのために何か名前を残す対策もいるのではないかと思えます。最後に常任理事の方々の多数のご出席をお願い致します。六愛会の益々の発展をお祈り申し上げます。

湊川21回生 吉田 慶子

今回、原稿を依頼された瞬間、困りました。正直言って、普段真剣に考えたことがなかったからです。54歳の頭で、さかのぼる事30数年前に思いをよみがえらせて！湊川高校最終学年として卒業してから今日に至るまで、母校は赤塚山として六甲アイランド高校と名前を変えていきました。当時は一度ならず二度も校舎ごと変わることは思いもよりませんでした。人から「母校はどこですか？」と聞かれた時は、「湊川です。」と答えた後に、「赤塚山になり今は六甲アイランド高校になっています。」と答える今日です。少なからず寂しさはあります。確かに現校舎に思い出はありません。湊川公園近くの校舎を横目に見て、机を並べた友人との思い出がよみがえるのは母校、湊川高校だけかもしれません。

私にとっての六アイ

でも赤塚山には後輩がいます。そして学生達の流れがあります。その中に湊川高校の流れも続いている。今は六甲アイランド高校として生まれかわったの思い出も…。また見方をかえると、一緒になった摩耶・神戸商業高校にも、中学からそれぞれに通った級友がいます。今、六愛会として同じ流れの中に再び名を連ねることになりました。卒業校が違い、思い出も違う人々が六愛会として間違いなく、既に歩みはじめています。六愛会の一員ですと、胸をはって言えるように、今後ますますの発展と流れがいつまでもとぎれる事なく続きます事を願うしだいで。

神商55回生 川辺 直也

六愛会の皆様こんにちは。神戸商業高校の跡地は、既に豪華さに目が眩むようなマンション街になってしまいましたが、赤塚山高校の跡地の方も今年に入って再開発が終わり、若々しい感じの明るい住宅街に生まれ変わっています。我々が学んだ思い出の場が放置されたまま荒れ放題になっているのではと、心配されていた方も大勢いらっしゃったと思いますが大丈夫です御安心ください。両校とも跡形も無くなり、私にとっては西岡本の校舎が無くなってしまっただけで感じますが、無事に有効活用されて良かったのではないかと思っています。さて、本題の私にとっての六アイはというと、何年ぶりに六甲アイランドに出かけたとき「ちょっと外観だけでも見せてもらおう」ということになったので、少しは気になる存在なのですが、校舎の正面にかかっていた、祝選抜出場(レスリング部が出場)の垂れ幕を見て「えっ甲子園！」と早とちりするぐらいで、新聞の高校スポーツ欄のチェックもしておらず、今の制服を知らないで街で六アイ生を見かけても分からない。進学や就職活動といったことも在校生の知り合いいもなく、最近職場に卒業生が入ってくることもないので意識することもない。等々で皆目見当が付きません。普段は接点が多すぎた同窓会関係の連絡がなかったら、忘れてしまっているというのが正直なところでは。

六アイ4期生 村田 未来

私にとって、高校での三年間はとても短いものでした。クラスでの活動も学系での活動も部活動もこの学年だったからこそ、とても良い思い出がたくさんできました。高校で一番心に残ったことと言えば、最後の体育祭での「よさこい」です。リーダーを中心に朝に放課後に、一生懸命練習したことを昨日のことのように覚えてます。体育祭当日の感動は、四期生のみならず、先生方があつての感動だったと思います。高校を卒業し、「高校は神戸の六甲アイランド高校だった。」と言ったら、兵庫県の人も「知っている」と答えてくれました。その時は、すごく嬉しかったです。まだ六甲アイランド高校としての歴史は浅いかもしれないけど、これからの六アイの発展に期待しつつ、四期生としての誇りを持ち続けていきたいです。四期生のみならず本当にありがとう！

六アイ4期生 津守 秀憲

僕の高校時代の思い出といえば、やはり生徒会長をやらせてもらったことに尽きる。本当にがむしゃらにやっていたので、他にあんまり思い浮かばない。生徒会長という経験は僕にとってすごく大きなものだった。生徒会の仕事を通じて、「責任」というもの、人

の「やさしさ」そしてありがちだけ「友達がありがたさ」を知った。この経験は僕にとって大きな糧となり、一生の財産となるだろう。僕の家はお寺である。今僕は、お寺を継ぐために仏教系の大学に通っている。僧になる修業を積むにもこの経験は活きるはずだ。何がどうなるかはまだ分からない。でも六アイの経験を活かしたいと思う。ただ高校時代の青春の残骸だけでは終わらせたくないのだ。

◆「第三の人生」に拍手◆ 神商15回生の浅井道雄さん、サラリーマン生活42年間、定年退職後、かねてから念願だった日本舞踊に専念し、若柳流名取り「若柳吉雄慈」を取得。喜寿を超え、今なお元気に活躍されています。



湊川六回生の皆様へ 同期会を開催いたします。後日ご案内を差し上げますが卒業五十周年の記念の会です。多数のご出席お待ちしております。日時 平成十六年十月一日(火) 午後二時～四時 場所 メリケンパーク オリエンタルホテル

平成15年度会計決算報告書

H15.4.1-H16.3.31 (単位:円)

収入費目	予算額	決算額
① 前年度繰越金	13,189,284	13,189,284
② 年会費	3,000,000	2,130,000
③ 同窓会入金	4,480,000	4,475,385
④ 出席会費	600,000	530,000
⑤ 諸収入	200,000	82,500
⑥ 預金利息	1,000	35
合 計	21,470,284	20,407,204

支出費目	予算額	決算額
① 総会費	1,600,000	1,051,148
② 会報発行費	3,000,000	3,000,769
③ 会員名簿費	2,000,000	2,107,765
④ 卒業記念品費	450,000	377,595
⑤ 母校後援会費	200,000	200,000
⑥ 会議費	600,000	238,350
⑦ 慶弔費	100,000	97,000
⑧ ホームページ開設費	200,000	188,349
⑨ 事務諸費	1,200,000	1,226,655
⑩ 周年事業積立金	1,000,000	1,000,000
⑪ 予備費	500,000	0
(小計)	10,850,000	9,487,631
⑫ 次年度繰越金	10,620,284	10,919,573
合 計	21,470,284	20,407,204

次年度繰越金の内訳	1. 取扱現金残高	189,443円
	2. 普通預金残高	10,728,200円
	3. 郵便振替残高	1,930円
	計	10,919,573円

周年事業特別会計

(単位:円)

年月日	摘要	収入額	支出額	差引額
2002/3/31	周年事業積立金(13年度分)	1,000,000	0	1,000,000
2003/3/31	" (14年度分)	1,000,000	0	1,000,000
"	" 預金利息	320	0	320
2004/3/31	" (15年度分)	1,000,000	0	1,000,000
2004/3/31	" 預金利息	480	0	480
計		3,000,800	0	3,000,800

平成15年度決算監査の結果、正当であることを認めます。

平成16年5月15日

監事 大慈善雄

監事 藤井文子

同窓会年会費納付のお願い

同窓生の皆様方におかれましては、お元気でお過ごしのことと存じます。平素、同窓会活動にお力添えを頂き有難うございます。

47,000余名に及ぶ大規模な同窓会の健全な運営、活動に役員一同精一杯取り組む所存でございます。それには、皆様方からの年会費に頼らざるを得ません。

しかしながら、毎年、年会費収入が著しく減少しております。このままでは近い将来、同窓会の運営に支障をきたすことは、あきらかです。

なにとぞ同窓会の皆様のご理解とご賛同を賜りますよう、役員一同心からお願い申し上げます。

記

年会費 2,000円

備考 *送金は同封郵便振替払込用紙をご利用ください。

*振込用紙を紛失された方。

振替先名称 神戸市立六甲アイランド高等学校同窓会

郵便振替口座番号 00930-7-107046

平成16年度会計予算(案)

H16.4.1-H17.3.31 (単位:円)

収入費目	前年度予算額	本年度予算額
① 前年度繰越金	13,189,284	10,919,573
② 年会費	3,000,000	2,500,000
③ 同窓会入金	4,480,000	4,480,000
④ 出席会費	600,000	600,000
⑤ 諸収入	200,000	100,000
⑥ 預金利息	1,000	1,000
合 計	21,470,284	18,600,573

支出費目	前年度予算額	本年度予算額
① 総会費	1,600,000	1,200,000
② 会報発行費	3,000,000	3,000,000
③ 会員名簿管理費	2,000,000	200,000
④ 卒業記念品費	450,000	450,000
⑤ 母校後援会費	200,000	200,000
⑥ 会議費	600,000	200,000
⑦ 慶弔費	100,000	100,000
⑧ ホームページ管理費	200,000	200,000
⑨ 事務諸費	1,200,000	1,200,000
⑩ 周年事業積立金	1,000,000	1,000,000
⑪ 予備費	500,000	500,000
(小計)	10,850,000	8,250,000
⑫ 次年度繰越金	10,620,284	10,350,573
合 計	21,470,284	18,600,573

クラブ活動主な成績

部 名	大会名	成 績
男子バレーボール部	県総合体育大会	ベスト16(近畿大会出場)
柔道部	県総合体育大会	女子団体5位、男子ベスト4
	県新人大大会	女子団体5位(近畿大会出場)
ゴルフ部	県新人大大会	男子団体3位(関西大会出場)
	県総合体育大会	男子団体4位(全道高校選手権経済大会出場)
陸上競技部	県総合体育大会	男子三段跳び6位(近畿大会出場)
野球部	県高校秋季大会	東神戸地区優勝
女子バスケットボール部	県総合体育大会	ベスト16
ボート部	県総合体育大会	女子ダブルスカル決勝5位
女子バドミントン部	県総合体育大会	団体5位
卓球部	国体県予選	女子シングルスベスト16(国体候補選手)
水泳部	県総合体育大会	女子100m背泳4位(近畿大会出場)
ダンス部	県総合体育大会・県新人大大会	優勝(全国高校・大学ダンスフェスティバル出場)
ラグビー部	県高校選抜チーム	豪州遠征1名(オール兵庫メンバーとして国体参加)
レスリング部	県総合体育大会	団体3位(近畿大会出場)
	国体県予選	120kg級優勝(静岡国体出場)
	近畿選抜大会	120kg級優勝(全国大会出場)
	ナショナルトレーニング近畿ブロック合宿大会	120kg級優勝(北京国際大会出場)
吹奏楽部	吹奏楽コンクール県大会高校A部のB部	金賞
	アンサンブルコンテスト県大会	全管八重奏金賞、クラリネット四重奏銀賞
自然科学研究部	神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞	努力賞

芸術系美術デザインコース

大会名	成 績
全日本高校デザイン・イラスト展	優秀高校賞(団体)
ADEC会長賞	個人
県高等学校美術展	特選立体の部1位(全国出席)
毎日DASデザイン展	学校賞(団体1位)
	服飾部門 部門賞(全国1位)
	グラフィック部門 佳作(全国2位)
	テキスタイル部門 佳作(全国2位)



事務局だより



同窓生の皆様こんにちは。お元気ですか。同窓会も元気で、会報第4号が発刊されました。きっと皆様の目に一番最初に飛び込んで来たと思いますが、会報の愛称が決まりました。「ろくあい」。昨年第3号で愛称を募集致しました。多数の方が「ろくあい」が、いいとの事。ひらがなの丸味を生かした素敵な題字が出来上がりました。

デザインは、六甲アイランド高校4期生(本年卒)の黒瀬 彩さんの作です。これから皆様に親しんで頂いて、同窓生のパイプ役としての広報紙がお届け出来ればと願っています。皆様の原稿をお待ちしています。もし会報の届いていない同窓生の方をご存知でしたら、事務局までおしらせ下さい。お送り致します。

冒頭で「同窓会も元気で」と書きましたが、「ちょっと元気がない」のです。同窓会の皆様をお願い致しております年会費の集まりが、年々減少しています。同窓会の活動は年会費で支えられています。どうか同窓会活動が絶える

ことなく、脈々と続いて行きますよう年会費の納入をよろしくおねがい申し上げます。期待しています。

総会の時期が近づいて参りました。8月28日(土)18時より、三宮の神戸東急インで開催されます。是非皆様お誘い合せの上ご出席下さいませよう、お待ちしております。この機会に同期会、クラス会等を計画されてはいかがでしょうか。もし実施される事が決まりましたら、8月20日頃までに事務局までおしらせ下さい。お席等を配慮いたします。(但し事務局は水曜日のみ出勤)

尚一面のおしらせをもちまして、多数のお世話になりました先生方へのご招待に替えさせて頂きとうございます。ご多忙の事とは存知ですが、是非ご参加下さいませようお待ち申し上げます。

昨年同窓会会員名簿が発刊されました。名簿は同窓会活動の基礎になります。住所、氏名等の変更がございましたら、必ず事務局までお知らせ下さい。お便りを下さる時は、学校名、卒業年度を記して下さいませようお願いします。

事務局は水曜日10時30分より15時まで出ております。

湊川16回生 津村登志子
TEL・FAX 078-858-4083
E-mail jimukyoku@rokuaiikai.org
URL http://www.rokuaiikai.org

おくやみ(旧職員)

中村 幸市
平成15年9月2日没
山下 尚志
平成15年8月5日没
高橋 健治
平成14年12月没
林 俊和
平成16年1月没

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

学校行事

平成16年 2004

5月21日(金) 学校祭「六愛祭」
10月 1日(金) 創立記念日
10月15日(金) 体育祭
12月22日(水) 芸術鑑賞会

平成17年 2005

2月末(未定) 同窓会入会式
2月末(未定) 翌日卒業式
5月中旬(未定) 学園祭「六愛祭」
10月中旬(未定) 体育祭

平成16年度 教職員人事異動

転出者		転入者	
教頭	大畑 守男 神戸市教育委員会学校再開発推進室	教頭	隈田 和男 神戸市教育委員会総務部定務課情報企画係
事務長	松元 英介 退職	事務長	井上 博行 みなと総局経営部
養護教諭	濱田小夜子 退職	*保健体育	久積 和保 兵庫商業高校
保健体育	松平 忠雄 退職・神戸工科高校	保健体育	渡辺 裕己 長田工業高校
芸術書道	梁瀬 佳郎 退職・六甲アイランド高校	英語科	塚本謙一郎 御影工業高校(定)
地歴公民	前田 和宏 神戸西高校 教頭	英語科	三原 和子 神戸工業高校
商業科	瀧波 創造 兵庫商業高校	*養護教諭	齋藤 恵子 多聞東中学校
地歴公民	沖 美江 科学技術高校	常勤講師	岡本 裕起 (地歴公民)
家庭科	森下 広子 科学技術高校	常勤講師	松本 修政 (地歴公民)
保健体育	山崎 明美 退職	*管理員	室谷 清美 葦合高校
事務職	中西 謙三 退職	家庭科	伊知地 薫
管理員	白井 俊彦 山田小学校	常勤講師	田中 寿明 (英語科)

清流会90周年記念式典収支決算

昨年11月2日生田神社社会館において旧清流会の90周年記念行事が盛大に行なわれました。ご参加下さいました方々に厚く御礼申し上げます。有難うございました。

90周年記念事業実行委員長 高野 文男
2003年11月2日 於 生田神社社会館 (単位:円)

収 入			支 出		
項目	金額	摘要	項目	金額	摘要
90周年基金	2,645,600		会議費	185,376	
楠公母子像募金残金	88,000		通信費	39,470	
清流会年会費残金	313,927		事務用品費	12,328	
市一集いの会残金	52,859		印刷代	63,050	
お祝い金	110,000		広告代	210,000	
会費	377,000		記念品代	250,000	
記念品代	3,000		おみやげ代	76,545	
利息	6,313		お茶席	26,460	
			学校記念品代	518,350	
			謝礼	140,000	
			アルバイト	36,000	
			饂飩	30,000	
			式典・祝賀会	1,464,513	
			(支 出 合 計)	(3,052,092)	
			残金	544,607	
合 計	3,596,699		合 計	3,596,699	

名簿発刊を終えて

名簿発刊委員長
竹田 峰子(神商42回)

昨年8月、六甲アイランド高等学校同窓会六愛会の会員名簿を発刊いたしました。

多数の会員の方々にご購入いただき誠にありがとうございました。発刊に際し、委員の方、ならびに事務局に多大のご協力を頂きました。また(株)廣済堂による再三の事前調査等の結果、無事発刊することが出来ました。ありがとうございました。

しかし、残念ながら不備も多々ございました。冒頭、校長先生のご挨拶文の校正ミス、住所判明者の一部が消息不明者の中に混じる不手際、その他ご指摘もございました。

この紙面をお借りして深くお詫び申し上げます。

同窓会名簿は、校史を継承し会員掌握のうえからも不可欠なもので、今後何年か後にも発刊されるものと考えます。準備段階で十分な検討がなされ、他校よりもより素晴らしく、会員の皆さまに納得して頂ける内容のある名簿が発刊されることを願っております。

最後にお願として、同窓会理事に選ばれた方々は、将来も永続的に同窓会と会員の皆さまとのパイプ役となって連携を密にし、会員相互の情報・消息の把握にご協力くださいますよう、切に望みます。

名簿賛助金

松本 敏子(旧姓 片岡)様 (高女15) 昭和6年卒業
河本 恵美子(旧姓 島田)様 (高4) 昭和48年卒業
延山 栄一様 (神商17回) 卒業

編集後記

毎年6月になると、何を書いたらよいのか迷ってしまう。愛称とロゴが決まった事は、本文中で紹介済み。今年は少し違った目線から、六アイについて述べたいと思う。

私と六アイとのつき合いは、地鎮祭から始まった。工事が進んで行き、新しい校舎が姿を現わしてくる、やがて完成。モダンな校舎での3校併設授業が始まり、そして赤塚山・神戸商業の廃校。教育の内容も総合選択制という新しいもの、そして来年度からは単位制へと、短い期間にどんどん進化を遂げている。同窓会も、旧清流会と旧龍神会とが一つになって、活動を続けている。しかし、六アイは変化に対応していつているのに、同窓会内部には、今だに、過去にとらわれた何かが存在する様に思える。年に一度の総会への参加者が、なかなか増えない事も、その一つの表われだと思ふ。歴史に大きな差はあっても、時間の流れを素直に受け止め、未来をしっかりと見つめて行く事が、大切なのではないだろうか?

編集長 古川 雄二
スタッフ 西中 博子・長野 紀子・吉田 光子・山本 唯司

